

津房地区公民館便り

編集・発行
津房地区公民館

電話番号
48-2001



河野市議
来賓あいさつ

たくさんの方々に
支えらえての

2年ぶりのふれあい大運動会

九月十七日(日)、二年ぶりに津房ふれあい大運動会が開催できました。

旧小学校のグラウンドを駐車場にするために、尾立の黒瀬さんは何度も草刈りをしてくれました。本当にありがとうございました。

前日の十六日は朝から、婦人ボランティア有志、まちづくり協議会の役員有志とによる配布用の紅白の餅つきが行われました。協議会役員の山本さん(菅籠)の息子さん(諒さん)も、代役で加勢してくれました。諒さんはちょうど都城から帰ってきていたようですが、お父さんの「おまえちよっと行ってこい」の声できたそうです。

また午後には十四名の区長の方々と、津房小PTAの樽松さんなども加わってテントの設営を行いました。

(設営が終わってあとの夕方



花上の打ち初人生火人

激しい雷雨があり開催が心配されましたが、)

十七日朝六時に実行委員長・大坪館長点火の花火で開催を皆さんにお伝え出来ました。

運動会の始まる前は、昨日の雨によりラインが消えてしまったり、水たまりができていたり、学校・地域の皆でグラウンドの整備でした。そして予定より若干遅れて「津房ふれあい大運動会」が始まりました。



楯円のボールはどこに行くのかわかりません(五輪の和)



玉入れ
白が一番多く入りました!



老人クラブ会長(田口氏)とじゃんけんをして→運搬用ボードに乗せたラーメンボックスを二人で運ぶ(なかよくごいっしょに:小学生+老人クラブ)



津房出身の八名の中学生が参加し、準備係を手伝ったり、競技に参加したりしてくれました。三年生を中心に、係分担や競技などを自ら決めて頑張ってくれました。

また、市職の皆さんが、用具の準備・片付け、競技の人員把握・中学生のお世話をしてくれました。本当に市職の皆さん（津房会）なしには、「地区体」部分の運営はできません。感謝いたします。



課題も残りました

「運動会」後、郵便局に立ち寄ったところ宮本局長から「お客さんが『行こうか、行くまいか迷っていたけど、いってよかった』と言っていました」と伺いました。

集落の打ち上げに立ち寄ったときも、「テントから子どもが『〇〇さん（集落のおばちゃん）頑張れー』と名前まで応援していた。つながっているなと思った」と言っていました。

その「つながる」という意味では、今年度一部の集落で参加辞退を決めてしまったのは残念でした。南部地区のテントだけほとんど人がおらず、参加者集めに地区代表の吉野さん（若林区長）が苦勞されていました。会場のあちらこちらで「あんた元気にしちよったかえー」「久しぶりじゃなー」「あんしは、どこん若けしーかえ？」などの声が聞かれました。顔合わせない限りは始まらないと思いました。

どうしても競技への参加者を集めることが難しい集落があることはわかります。日ごろから集落の中で「つながって」いなければ声もかけにくいものだと思います。ある集落の区長さんが「なんか楽しいことをして集めようとしても集まらんじゃえー」とおっしゃっていました。

学校の生徒たちの仲間づくりも、急にたくさんの仲間を集めようとしてもそれは困難を極めます。人それぞれいろいろな考え方を持っているからです。身近な近いものが集まって楽しくやること。それがはじめかもしれないと思います。マッチするかどうかわかりませんが、

『先づ隗より始めよ』

そのほか、今年は「地区」だけで選手をそろえることができなかった関係で、「得点競技」という形をとれませんでした。「『対抗』ないからやる気がでない」というご意見もあると聞きます。しかし、年に一度津房の地区民が老若男女を問わず、集まって和気あいあいと競技をするというのもありなのかなとは思っています。

区長会をはじめとした各種会合で少し話題にさせていただけたら幸いです。

ヤモリは双子！



玄関わきに置いてある「ほうき」の陰に、産み付けられていたヤモリの卵。直径1cmの卵4個のうち上の2つがふ化していました。（8/27）残りの下二つものちにふ化しました。↓過日、日を置いて、2匹の死骸を発見。自然であるがゆえに仕方ないことですが…。

さて、ヤモリの産卵は一般的に2個ずつだそうので、確かに2個ずつふ化しました。

家の周りの物陰に探しているところを探せば、2個セットのふ化後の卵が見つかるかもしれませんね。

